

官女たちの袖を華やかに眩しく吹き返していた明日香の風も  
都がうつり残された明日香の静けさのなかで空しく吹くばかり

采女 うねめ 万葉集 卷一 志貴皇子

采女の袖吹きかへす明日香風

都を遠みいたずらに吹く

